

2016年度第6回北陸公法判例研究会開催のご案内

北陸公法判例研究会会員の皆様

早春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび、下記のとおり、本年度第6回目となります北陸公法判例研究会を開催いたします。今回は慶應義塾大学の山元一先生をお招きし、テーマを設定しての討論式の研究会となります。万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、通例とは異なり平日の開催となり、会場、開始時間も異なりますので、ご注意ください。

記

日時： 2017年3月9日（木） 午後2時30分より

場所： 金沢大学サテライトプラザ（金沢市西町教育研修館内）

金沢市西町三番町16番地（次ページに地図があります）

https://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad_koho/satellite/

テーマ：「山元憲法学との対話——その憲法解釈方法論を中心に」

コメント 山崎 友也 准教授（金沢大学）

リプライ 山元 一 教授（慶應義塾大学）

《参考文献》

- ・山元一「『立憲主義』論からみた現在の日本における憲法改正論議」憲法理論研究会編『憲法理論叢書 16 憲法変動と改憲論の諸相』（敬文堂，2008年）203～216頁
- ・山元一「グローバル化世界と人権法源論の展開」小谷順子＝新井誠＝山本龍彦＝葛西まゆこ＝大林啓吾編『現代アメリカの司法と憲法—理論的対話の試み』（尚学社，2013年）344-365頁
- ・山元一「9条論を開く—＜平和主義と立憲主義の交錯＞をめぐり—考察」水島朝徳編『シリーズ日本の安全保障 3 立憲的ダイナミズム』（岩波書店，2014年）73～112頁
- ・山元一「＜「自由」＞の共和国の憲法思想——『70年代主権論争』，そしてその後——」石川健治編『学問／政治／憲法——連環と緊張』（岩波書店，2014年）89～134頁
- ・山元一「世界のグローバル化と立憲主義の変容」憲法理論研究会編『憲法理論叢書 24 対話的憲法理論の展開』（敬文堂，2016年）57～68頁
- ・山元一「憲法解釈における国際人権規範の役割」『国際人権』22号〔2011年〕35～40頁
- ・山元一「グローバル化世界における公法学の再構築——国際人権法が憲法学に提起する問い

かけ」『法律時報』84巻5号〔2012年〕9～16頁

・山元一『『憲法的思惟』vs『トランスナショナル人権法源論』』『法律時報』87巻4号〔2015年〕74-79頁

・山元一『『国憲的思惟』vs『トランスナショナル人権法源論』』『ジェンダーと法』13号〔2016年〕23-34頁

・山元一「集团的自衛権容認は立憲主義の崩壊か？」//synodos.jp/politics/14844



連絡先：稲葉 実香（金沢大学） 076-264-5497 inaba@staff.kanazawa-u.ac.jp